

明日に向かって ともに創る

105

大船渡市長 戸田 公明

行政のデジタル化について

以前より、市役所内におけるデジタル化推進の必要性を痛感しており、庁内会議などを通じて強調してきましたが、財政状況が厳しい中、なかなか実現できず複雑な思いで過ぎしてまいりました。

そのような中、コロナ禍で見えてきた国・地方自治体の「行政デジタル化」の遅れを取り戻そうと、政府が急速に動き出しました。大いに時宜を得ており、市としましても今後の政府の動きを注視しつつ、市役所デジタル化を強力に進めてまいります。

今後、行政のデジタル化が進展しますと、将来的に、次に挙げるような事例が実現してまいります。

■オンライン申請

これは、市役所などの窓口まで出掛けなくても、インターネットを通じて各種申請ができるようになります。これにより貴重な時間と手間が省かれ、申請者にとっては仕

事・各種活動などに時間・手間をより有効に使えるようになります。

■押印廃止

オンライン申請では、当然のことながら押印不要となり、代わりにマイナンバーカードなどを通じた本人確認が必要とされます。一方、窓口においてもオンライン申請に先駆けて、押印廃止が普及します。長年、押印文化に慣れ親しんだ我々の社会ですが、窓口で本人確認ができるマイナンバーカードなどの提示とともに、署名により実現できます。

■窓口での書類作成の簡素化

市役所などの窓口で、何枚もの書類に住所・氏名などを記入する場面がよくあります。マイナンバーカードの使用により、書類に住所・氏名などが印字されるため記入の手間がなく、本人の署名のみで申請が可能となり、窓口対応が極めて簡素化します。そのためにもマイナンバーカー

下の普及が求められます。

■各種料金の自動引き落とし・自動振り込み

現在、税金・国保税・介護保険料などの自動引き落としが行われています。一方で、市民の皆さんに対し納付書による銀行振り込み・窓口支払いをお願いしている料金もまだ残されています。

これらがマイナンバーと紐付けられることにより、銀行口座から自動引き落とし・自動振り込みが可能となります。そのためにも、マイナンバーと銀行口座の紐付けに関する法案が、来年国会に提出されるよう準備が進められています。

ほんの一例を紹介しましたが、デジタル化により利便性が格段に向上し、少子化・人口減少のため行政職員数が減少したとしても、行政サービスを維持し続けることが可能になります。

マイナンバーカードを取得されていない皆さんには、健康保険証としての利用（来年3月開始）、運転免許証としての活用（時期未確定・検討段階）なども始まりますので、早期に取得されますようお願い申し上げます。

けせんジオツアーを開催します

- ▷期日＝11月23日(月・祝)午前9時30分～午後4時30分※午前9時30分までに集合ください。
 - ▷集合場所＝いわて TSUNAMI メモリアル(陸前高田市)
 - ▷内容＝かつて気仙地域で産出されていた金にまつわるジオサイトなどを巡ります。
 - ▷行程
 - ・10:10～11:10＝玉山金山跡(陸前高田市)
 - ・12:00～12:50＝昼食休憩(遊・YOU・亭夏虫)
 - ・13:05～14:00＝今出山金山跡(大船渡市)
 - ・14:40～15:20＝住田町民俗資料館(産金文化に関わる資料などを見学します)
 - ・16:30解散
- ※移動は中型バス(27人乗り)2台で行います。

- ▷参加料＝1人1,000円(昼食代として)
- ▷対象＝気仙管内在住の人
- ▷定員＝20人(先着順)
※申し込みが15人未満の場合、開催を見合わせる場合があります。

- ▷申込期限＝11月13日(金)
- ▷申し込み・問い合わせ先
三陸ジオパークけせん地域協議会事務局
【市役所観光推進室(☎内線115)】

